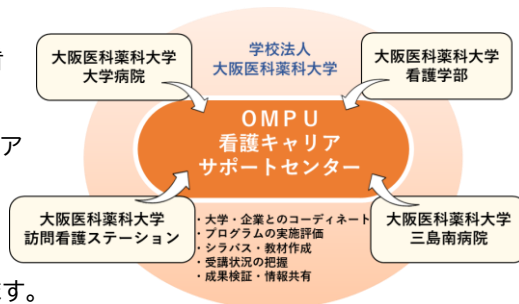




看護キャリアサポートセンターのご紹介

看護キャリアサポートセンターは、看護学部、大学病院、三島南病院、訪問看護ステーションが連携・協働し、変化する社会や制度、そして複雑多様化する医療ニーズに応え、地域社会に貢献できる看護人材の育成と看護職のキャリア支援を目的とし開設されました。

『看護キャリアサポート通信』では、看護キャリアサポートセンターで開講している授業の紹介や、受講生の声などを定期的に発信していきたいと思っております。



センター長挨拶

2022年7月、大学病院2号館3階(旧化学療法センター)に新設されました。ここでは、学内外の看護職の皆さまのキャリア形成をサポートできるよう、さまざまな研修を行っています。実際の研修は、専門看護師、認定看護師をはじめとする病院や訪問看護ステーションのスタッフ、看護学部教員の皆さまのご理解とご協力によって成り立っています。人生100年時代を見据えた、OMPU看護の力を結集した学びの場。地域に根差し、地域とともに歩んでいけるセンターでありたいと思っております。本センターをご活用いただきますよう、今後ともよろしくお願いたします。

センター長 真継 和子

センターに期待すること

看護学部 学部長 赤澤千春

高齢社会が続く現状において、質の高い看護師の確保は喫緊の課題です。本学は大学院や附属病院、訪問看護ステーションがあり、潜在看護師が再度学び直すためのリソースが豊富にあります。地域の潜在看護師が知識・技術を身につけて、医療現場に自信をもって戻っていただけるように支援することを期待しております。

三島南病院 看護部 看護部長 松本 加奈

変化する社会のニーズに応えるためには、看護職としての知識・技術等の能力開発・維持・向上を図ることが重要です。看護職一人ひとりが看護職として活躍し続けることができるように、今後も地域に開かれた多様な学習環境を整備し、生涯学習支援、キャリア形成支援に取り組んでいただけることを期待しています。

大学病院 看護部 看護部長 中山 サツキ

大学病院の看護師にとっては、高度・先進医療に対応できる専門的な知識・技術を有していることが求められています。看護キャリアサポートセンターで学ぶ場が提供されることは、そのような看護師に近づく一歩になると期待しています。

訪問看護ステーション 管理者 林 佳美

現場の教育では、看護師の自己概念との間に抵抗感を感じることが多く、教育者の悩みは尽きません。しかし、今年度の受講者から「研修での学びを通して自身を見つめ直し、改めて自己課題に気づいた。」との声があり、研修が変化という成果をもたらしたことを実感しました。今後も多様な学習機会を提供し続け、優れた看護人材の育成に寄与することを期待しています。

